

第14回 武雄市短期経済観測調査（たけお短観）の結果について

下記のとおり「第14回武雄市短期経済観測調査（たけお短観）」を実施し、結果を取りまとめましたので、お知らせします。

結果のポイント

- ・総合景況感は、依然としてDI値マイナス（18）である。
- ・前回3月調査値（-16）と比べると-2となり、僅かではあるが景況感は悪化した。

【武雄市短期経済観測調査（たけお短観）結果】

平成25年6月調査

	調査数	前回調査		今回調査			前年調査
		A	見通し (H25. 4-6)	B	(B-A)	見通し (H25. 7-9)	C
		現況 (H25. 3)		現況 (H25. 6)	前回現況 との対比		現況 (H24. 6)
総合	100	-16	18	-18	-2	8	-39
農業	10	-60	±0	-50	+16	-20	-50
建設業	11	-27	9	±0	+27	45	-27
製造業	11	-18	27	9	+27	18	-36
卸売・小売業	25	±0	28	-20	-20	-12	-28
観光業	10	-30	20	-30	±0	40	-90
飲食業	10	20	20	-30	-50	22	-30
サービス業	23	-18	13	-13	+5	0	-35

- 調査目的 本市の経済動向をよりの確に把握するため
- 調査対象 武雄市内事業所 100箇所（業種別内訳は上表参照）
- 調査時期 年4回（3月、6月、9月、12月）
- 調査方法 電話による聴き取り
- 調査内容
 - （1）現在の景況感：良い、普通、悪いのいずれかを回答
 - （2）3ヵ月後の見通し：良くなる、変わらない、悪くなるのいずれかを回答
- 集計方法
 - （1）現在の景況感（2）3ヵ月後の見通しについて、それぞれ回答数の構成比を求めた上で「良い（良くなる）」の構成比から「悪い（悪くなる）」の構成比を引いて「現況DI」、「見通しDI」として指標化しました。
 - 例えば、現在の景況感の「良い」が10%、「普通」が40%、「悪い」が50%の場合は、-40となります。
 - 「DI」（Defusion Index、デフュージョン・インデックス）は、企業や業界の景況感などを数値化した指標のことで、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」（日銀短観）などで用いられています。

武雄市営業部商工流通課

〒843-8639 武雄市武雄町大字昭和1番地1
 TEL : 0954-23-9183 FAX : 0954-23-7102
 E-MAIL: syoukour@city.takeo.lg.jp